

「誰か × 誰か」「誰か × 何か」の組み合わせが面白い。

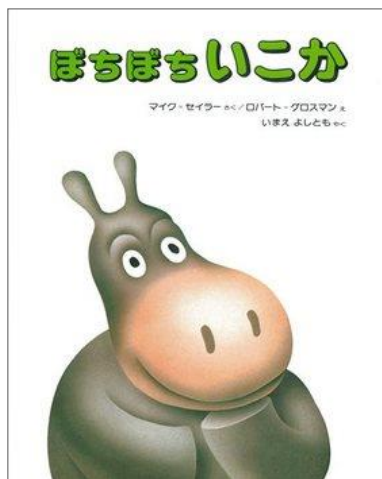
泉鏡花 × 絵本

『絵本化鳥』
泉鏡花 / ぶん 国書刊行会

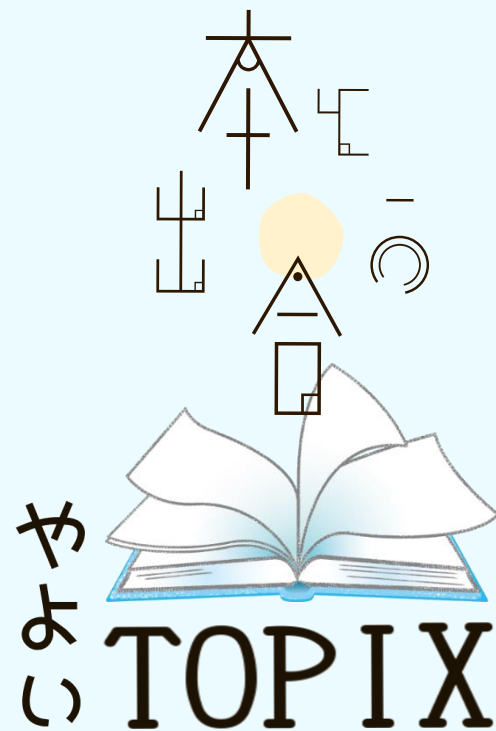
古風で難解な文体から、とてもすれれば敬遠されがちな作家は少なくありません。泉鏡花もその一人でしょう。今回ご紹介するのは、そんな泉鏡花の作品を鮮やかな色彩の絵と共に綴った、美しい1冊です。ひらがなに直されている部分もあるのですが、原文の雰囲気や損なわず、簡単に読み進められます。幼い頃に母を喪った泉鏡花だからこその書けた、母への愛の物語。ぜひ手に取ってご覧ください。(新井)



館長が紹介する
「印象に残った一文」とは？



『ぼちぼちいこか』
マイク=セイラー / さく 偕成社



みんなで考えよう、環境のこと。



『日本の森がないている』
そうまこうへい / 著 環境省

日本の森のことを親子でいっしょに考えてみませんか？
日本は森がたくさんある、自然がゆたかな国です。でもいま、その森がすこし元気がありません。なぜでしょう？そして、こどもたちのみらいのためにもこの森を元気にすることが大切です。でもどうやって？その答えはこの絵本の中でくまじいかわかりやすく教えてくれます。日本の森を元気にすれば、空気がきれいになり、水がきれいになることや、どうすれば元気になるのかを親子でいっしょに考えてみましょう。
この絵本は日本のさまざまな森林保護活動を行っているEVOという団体が制作した「環境読み聞かせ絵本」の1冊です。他のシリーズもあち再生館の図書コーナーにありますので、読んでみてください。

子どもの頃から、ずっと好きな絵本があります。この本は、そんなお気に入りの1冊です。主人公のカバくんは、いろんな職業に挑戦します。消防士、パイロット、バレリーナに手品師……。しかし、何をやってもうまくいきません(主に体格の問題で)。普通なら最後にはびつたりの仕事が見つかりそうですが、この本は最後まで見つかりません。でも、だからこそ、最後の「ぼちぼちいこか」という言葉に、ありのままを認めてもらえたような気持ちになります。新しい環境で疲れが出てくる頃ですが、皆さん、ぼちぼちいきましよう。(丸山)



「そや。ええこと おもいつくまで—
こちらで ちょっと ひとやすみ。」

NDCを知って図書館を有効活用！

今回は「5」です。5は技術に関する本です。自動車や建築から料理のレシピ本やお裁縫、収納術まで技術に関する本を幅広く取り扱っています。
その中から今回紹介する本は『筆箱採集帳』。小学生に始まり、アイドル、会社員、建築家、イラストレーター、保育士、ラッパー、舞台女優、陰陽師と、様々な職業の方々の筆箱が披露されています。文字は少なめで、写真がメインとなっていますが、筆箱自体はもちろん、中身の文房具も細かく掲載されていて、眺めているだけでも楽しめます。読んでいると、ついつい自分の筆箱を新調したくなるかも？(竹原)



ここでは図書館の本を分類する際に使われる「日本十進分類法」について説明します。NDCとは簡単にいうと、0-9の10ジャンルの分類方法のことをいいます。

クイズにこたえて、
図書館でプレゼントをもらおう。

もんだい：5月5日は、なんの日でしょうか？

- ① おとなの日 ② 午後の日 ③ こどもの日

こたえ：_____

Vol.5



『筆箱採集帳』
フング・ジャム / 著 廣済堂出版

記念日から見つける、とっておきの1冊。



5月16日は、あの松尾芭蕉が「おくのほそ道」の旅に出発した日なのだそう。それを記念し、日本旅のベインクラブが1988年に「旅の日」と制定しました。
ゴールデンウィークや、少し先の夏休み。今から旅の予定がある方がいらっしゃるかも知れませんね。ということで、今回のテーマは「旅」です。

こんな本もありますよ 『マルカの長い旅』
ミリヤム・プレスラー / 作 徳間書店

『もいちど修学旅行をしてみたいと思ったのだ』
北尾トロ / 著 小学館